学校番号	３０５

平成３１年度　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高校生の美術１」　（日本文教出版）						
副教材等	自主教材プリント等						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・身の周りのものや美術作品をあらためて見直してみましょう、美しさやその理に心を集中させてもう一度観察して下さい。
・どうすれば自分の表したいものに近づけるかを考えて、自分なりに工夫して表現しましょう。
・意図したものが表現できるように、自分のイメージを深めましょう。
・表現する喜びを味わいましょう。

２　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	美術と自分	【鑑賞】【デザイン】 ・オリエンテーション 教科書等を鑑賞し、多様な表現形式について学び「美術Ⅰ」の学習イメージを持つ ・イラストレーション 自分のイラストレーションを制作し、伝えるイメージを表現する	◎ ◎	◎	○	○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 d:美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化についての理解を深めている。 b:自分のイメージを、動物を擬人化することにより表現する c:アイデアを明暗の表現に留意し表現する。	学習活動の様子 ワークシート 制作の様子 作品
	愛着のある身の回りの物を描く	【絵画・彫塑】【鑑賞】 ・モチーフを選んだ理由を発表する ・教科書の作品等を鑑賞する ・描写 愛着のある物を家から持って来て鉛筆でその物の感じが伝わる様に描写する。	◎ ◎ ◎	○ ○	○	◎	a:用意した題材への自分の思いをまとめ、グループで発表する。 d:良さや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品についての理解を深めている。 b:物の感じを捉えて表現する。 c:鉛筆の芯を描画するに使いやすく整え、線を重ねることにより暗さの段階を出す。	発表の様子 制作の様子 製作途中の作品 作品
	つながる模様	【デザイン】【鑑賞】 ・色彩基礎 ・色彩構成 色のつながりや明度差を利用してクラス全員の模様がつながって見える共同作品を作る。 ひとりひとりの作品を貼り合わせ、一枚の作品として鑑賞する。	◎ ◎	○ ○	○ ◎	○	a:切模様のパターンの中に美しさを追求し、絵の具を混色することで美しい色を出そうと試みている。 b:形や色彩の働き、また条件を考え、美しく表現している。 c:アクリルガッシュの特性を生かし、むらなく、美しく塗れている。 d:色を色相でまとめ、図と地の明度差を利用し、色彩計画についての考察を深め、色の個性を知る	制作の様子 製作途中の作品 作品
	シルクスクリーンで刷る自分のイニシャル	【デザイン】 ・自分のイニシャルをデザインする。 ・バッグにシルクスクリーンで印刷する。	◎ ◎	◎	◎		a:自由なアイデアを大切にしながら、文字のエレメントや発想のプロセスに着目し、多角的に文字をデザインする。 b:デザインする面白さに気づき、制作する。 c:シルクスクリーンのカッティング法を表現に生かし美しく刷りあげる。 d:版による表現の方法を知り、表現に生かす。	アイデアスケッチ ワークシート 制作の様子 製作途中の作品 作品

後期	表情のある眼	【絵画・彫塑】【鑑賞】 ・教科書に載っている自画像の作品、又作家の自画像を鑑賞する ・鉛筆によるデッサン 顔の向きや角度を変えて自分の目を描く。	◎ ◎	○	◎	◎	a:モチーフを表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:光や陰影、面等を把握して形態を表現している。 c:鉛筆の特性を生かし、体験的に材料の特性についての理解を深める。 d:上下左右の角度変化によりものの見え方が違うことを理解する。	鑑賞ワークシート 制作の様子 制作途中の作品 作品
	仮面制作	【絵画・彫塑】【鑑賞】 ・仮面を付けた人物のキャラクターの構想を練る。 ・構想にそった造形を粘土でモデリングし、キャラクターのイメージに合うように色のトーンを考えてアクリル絵の具で彩色する。 ・相互鑑賞	◎ ◎ ◎	◎ ◎	○ ◎	◎	a:テーマを決めて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:テーマを基に感性や想像力を働かせ、感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、表現形式の特性を生かして、形体、色彩、などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 c:意図に応じて粘土や着彩の表現方法を工夫して、主題を追及して表現している。 d:色のトーン（調子）についての考察を深め、表現に生かしている。	制作の様子 アイデアスケッチ 鑑賞ワークシート 製作途中の作品 作品
	足跡のデザイン	【デザイン】【鑑賞】 ・足跡からイメージを膨らませて、デザインする。 ・自分の足跡をダンボールに写　しその中を素材変化でデザインを表現し、色によるイメージ表現を考え、絵の具の使い方も工夫して彩色する。 ・相互鑑賞	◎ ◎ ◎	○ ◎	◎	◎	a:自分の足跡からイメージをふくらませて表現することや、ダンボールの素材を変化させることに興味を持ち、主体的に取り組もうとしている。 b:感性や想像力を働かせて表現の構想を練っている。 c:ダンボールの素材や絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して表現している。 d:よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品についての理解を深めている。	制作の様子 アイデアスケッチ ワークシート 製作途中の作品 作品

4　学習の活動

※　表中の観点について　a…関心・意欲・態度　　b…発想や構想の能力
　　c…創造的な技能　　d…鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。